



# Weekly Report



クラブ・テーマ 「これまでに感謝 これからの創造」 Share vision  
— The 55th anniversary —

会長 小林利郎 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 点鐘 12:30～13:30  
幹事 出山知宏 事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681  
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小林利郎年度 第26回 通算2640例会

平成30年1月25日

## 会長挨拶

第55代会長 小林利郎

皆様こんにちは、今日は米山記念奨学部門増進委員会委員 藤嶋剛史様と米山奨学生の柯愛霞さんには、ようこそ当クラブ例会にお越し下さいました。また、柯さんには卓話をお願い致します。



米山記念の米山梅吉氏は、日本で初めての東京ロータリークラブを設立された方。当時は三井銀行の常務取締役で三井物産社員で日本人初のロータリアン、ダラス RC 福島喜三次から設立について全権限を一任され設立に至ったそうです。そして、皆様のご存じの通り将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的に日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する奨学金制度と経済的な支援だけでなく世話クラブとカウンセラー制度によって心の通った支援とされているのです。

4年前に当クラブでも静岡にある米山記念館を拝観してきました。米山梅吉氏の遺品や資料等も展示しており、例会が行える部屋もあります。機会があれば再訪してみたい場所で、この制度をよく知って理解したうえで奨学生の皆さんと触れ合う事も大切と考えます。本日も宜しくお願い致します。

## 挨拶文の行間

よい縁をつくるためには  
和み  
謙虚さと感謝の気持ちが大切なのですね  
縁を大切に思う気持ちが  
縁となり  
つながっていくのだと …toshi

小才は縁に出会って縁に気づかず  
中才は縁に気づいて縁を生かさず  
大才は袖すり会った縁をも生かさず  
…柳生石舟齋（やぎゅうせきしゅうさい）

## 幹事報告

副幹事 津多一幸

①米国サンディエゴで開催された国際協議会において、2018-19年度RIテーマがバリー・ラシン会長エレクトより発表されました。

“BE THE INSPIRATION”

「インスピレーションになろう」



②第4グループIM（インターシティ・ミーティング）についての案内が届いております。

日時 2月19日（月）

受付 13:30～（懇親会 17:10～18:40）

場所 パレスホテル大宮 3階チェリールーム

講師 日本BE研究所 所長 行徳哲男氏

③2018-19年度地区ロータリー財団補助金管理セミナー

日時 2月27日（火）12時30分～登録受付

場所 大宮ソニックシティ 市民ホール

④2017-18年度ライラ研修第1回事前研修が行われます。

日時 2月18日（日）受付10時より

場所 大宮ソニックシティ 601会議室

⑤大宮北RCより2～4月の例会予定表が届いております。

⑥ハイライトよねやま214号が届いております。 以上

## ご挨拶

### 第2770地区米山記念奨学部門

増進委員会委員 藤嶋剛史 様

半年ぶりにお邪魔いたしました。グループ幹事として2/19のIMにはぜひ多くの皆様にご来場いただけますようお願い申し上げます。



さて、ご承知の通り米山奨学事業は、米山梅吉氏の功績を記念して、世界に「平和日本」の理解を促す願いを込めて発足した、日本独自の国際奉仕プログラムです。留学生の学業の達成を支援すると同時に、ロータリアンとの交流を通じてロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との「懸け橋」となるなど国際親善に尽くす人材を育てることが使命であり、その事業の成功には奨学生とロータリアンの良好な関係が欠かせません。将来、日本と外国の懸け橋に、そしてロータリーの

良き理解者になってもらうためには、日本を、ロータリーを好きになってもらうのが大事なのではないでしょうか。地区大会をはじめ、奨学生と接する機会は多いと思います。そんな時はぜひ、「自分の子どもや孫が海外に留学したら、現地の大人にどんな風に接してもらえたら嬉しいだろう」そんな風に考えてみてください。「何事も、人々からしてほしいと望むものは、人々にもそのようにせよ」他人への思いやりと助け合いの精神を重んじた米山梅吉氏はそう語っていたそうですが、これは前述の言葉に通じており、またロータリーの思いやりの精神そのものではないかと思えます。第2770地区は全国でも3位の寄付額となっていますが、それでも受け入れを希望するクラブの3/2しか割り当てられません。

皆様の貴重なご寄付が、この2770地区から一人でも多くの「懸け橋」を育てることにつながります。

今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 米山奨学生として

### 米山奨学生 柯愛霞(か あいか)

#### 【世話クラブ：戸田西 RC】

こんにちは。カアイカと申します。卓話の機会を与えていただき、誠にありがとうございます。本日、どうぞよろしくお願いいたします。まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。2016年4月から、今年の3月までの2年間の世話クラブ、第12グループの戸田西ロータリークラブです。2013～2014年度米山記念奨学部門委員長を務めた駒崎さんは私のカウンセラーです。いつも温かい言葉で励ましてくれて、すごく優しい方です。真ん中の写真は、去年度米山奨学部門感謝の集いの時撮った写真です。感謝の集いの3日後ちょうど駒崎さんの誕生日なので、サプライズとして学友の朴さんと、小さいケーキを買ってテーブルでお祝いしました。駒崎家族と一緒に高尾山に登ったり、奉仕活動でチャイナドレスを着て一緒に写真を撮ったりしました。

私の出身地は中国の河北省です。今、文教大学大学院博士後期課程3年生です。修士から今まで、江戸時代日本人に作られた『唐話纂要』という中国語の教科書を資料として、当時の中国語の発音及び今までのその発音の変遷についての研究をしています。2006年から日本語を勉強し始め、留学のお金を稼ぐために、初めて日本に来たのは、2010年です。2012年、留学生としてまた日本に来て、今年6年目です。人生の最も重要な10年間はずっと日本と関わって、切っても切れない絆となっています。

次に、米山奨学生として、これまで参加した活動を紹介します。私たちが第2770地区の米山記念奨学部門の行事と一緒に見ていきたいと思えます。

私は、2016年学校の推薦で1月に米山奨学金の面接試験を受けました。採用された後、4月にカウンセラー・奨学生の初顔合わせに出席し、その場で、確約書を記入し、正式に米山奨学生になりました。

入学式は普通の大学の入学式よりちょっと遅くて、毎年5月にやります。カウンセラーと奨学生たちとの初記念写真は入学式で撮ります。米山奨学生生活の正式なスタートもここからです。入学式では大勢のロータリアンの前で、一人ずつ

3分間スピーチを行います。2016年の入学式の日、5月7日、ちょうど私の誕生日で、スピーチして、まだ自己紹介したばかりで、急に音楽が流されて、「え？何で私がスピーチするときだけ、音楽を流すのだろう」と考えて、気づいたら、「happy birthday to you」の歌でした。それで、司会者の所を見て、昨年度の部門委員長栗原さんは、花束を持ってステージに向かってきました。160人以上の人の前で誕生日祝いを頂けるのは、本当に人生の中、考えたことがないことで、私にとってはとても印象に残った特別の入学式でした。

入学式以降、奨学生が世話クラブの例会、イベントとかに出席して、大体2か月経ってから、米山部門セミナーでは、この2か月間の生活について、カウンセラー、奨学生、学友の交流を行い、また、決められたテーマについて、ディスカッションをして、グループごとに発表します。セミナーの後に、奨学生の間もどんどん仲良くなっていきます。

また、9月敬老の日に、老人ホームなどの施設に訪問して、敬老会を行います。毎年施設によってやり方が多少違いますが、私たち奨学生は、歌、ダンス、マジック、それから、民族衣装を着てファッションショーなどのアトラクションを出します。一年間の行事の中、この奉仕活動が一番有意義な活動となっています。

11月、地区大会では、米山奨学生も参加し、地区ロータリアンの前で、米山部門に関する発表もします。それに、財団奨学部門、青少年部門と合同に行うミニプログラムではアトラクションも出します。今年、奨学生の中に、アメリカ出身の学生が相撲の部活に参加していますので、その日に、相撲のいくつかの戦い方を見せてくれました。

毎年のクリスマス前に、部門の定番行事として、感謝の集いがあります。ここでは奨学生たち、ロータリアン、特に自分のカウンセラーに、心を込める感謝のプレゼントを送ります。また、感謝の気持ちを表すために、奨学生たちの得意な出し物を用意し、盛り上がる感謝の集いとなりますように、毎年一所懸命頑張っています。もちろん、私たち奨学生もサンタさんのガバナーからプレゼントも貰えます。感謝の集いは、行事の中、一番楽しい活動だと思います。感謝の集いが終わったら、あっという間に、修了式になります。継続生なので、今年の3月卒業します。去年の修了式では、卒業生一人一人が、部門委員長に感謝状を渡されました。私はその時卒業しませんでした。すごく感動して、泣きました。今年は後2か月ありませんが、その時、どうなるでしょう。このようになるかなと思っていました。こちらは去年同期の卒業生ですが、女性よりかなり泣いた男一人です。これは本当に忘れられない瞬間です。ここまでは、奨学生の義務として出席しなければならない行事となっています。これらの行事を準備するために、奨学生も一緒に参加する月に1回の合同委員会があります。特に、アトラクションを準備するとき、みんなの力を合わせて、一緒に考えます。また、本日のように、卓話について、合同委員会で新規の学生は継続生の卓話を聞いて、そのやり方を一緒に学びます。

それから、奨学生が自由に参加できる定番行事として、一つは学友会主催、毎年入学式の後に行う親睦日帰り旅行です。昨年度は米山梅吉記念館、今年度は山梨県にあるフジッコワイナリと聖徳記念絵画館に行きました。勉強になるとともに、新規奨学生と学友・ロータリアンと懇親を深められる



一つの機会だと思います。私は今年度の旅行に参加しましたが、とても楽しい一日でした！もう一つは、米山富士登山同好会主催の富士登山です。今年体調が良くなかったので、行けなかったのですが、昨年度、世話クラブのメンバー5人で一緒に無事に山頂まで登りました。ご来光を見た瞬間、すごく感動しました。登山はすごく辛かったのですが、本当に最高の思い出となりました。

米山奨学生になって、今年は2年目です。特に何もなければ、毎週に世話クラブの例会に出席しています。例会を通して、クラブの皆さんと親しくなって、例会の木曜日はとても楽しい時間となっています。

去年の例会ではSAAを一年間やっていました。すごくいい経験で、そのお陰で、私にとっては、日本語の一番難しい敬語が、少しですけれども、よくなっています。

2016年明治神宮記念館に行った最終例会で、その時、明治神宮の一番中に入って参拝しました。普段なかなか入れない所なので、とても印象に残っています。クラブに入ってから計算してみると、今の会長は三代目となります。二年間って本当にあっという間だなあと感じました。

9月になると、戸田クラブ、戸田イブニングとの3クラブの合同イベント、キャンドルナイトがあります。毎年、米山奨学生を呼んできて、一緒に参加しています。

10月は恒例の献血活動です。献血の手伝いだけでなく、自分も献血しました。献血の知識を学べられますし、毎年



の献血者の血型の集計結果は、一番楽しみにしていることです。日本では、やっぱりA型が一番多くて、B型が最も少ないですね。この二年間、AB型の方は、毎年2・3人ぐらいしか取れません。また、

昨年度、クラブが戸田市障害者福祉会館に、卓球台を寄贈しました。その寄贈式にも参加させていただきました。卓球できない私も、すこしやってみました。とても下手なので、「あなたは中国人じゃないよね」って笑われました。そして、親睦旅行で一緒に、鎌倉に行きました。今度は八幡宮の中に入って参拝することができました。

うちのクラブの会員は中、高齢の方が多くて、去年 還暦、古希、傘寿、卒寿の満年齢の皆さんのために、「人生のふしめ」という祝宴（しゅくえん）を開きました。その時、違う年齢の人は違う色の服を着る事は初めて知りました。

また、今年度、韓国の友好クラブが日本に来たとき、歓迎会、それに歓迎会の次の日に、富士山の六合目まで一緒に行かせてもらいました。それから、今年度、戸田イブニングRCと親子例会を2・3回行い、それも出席させていただきました。自分の世話クラブだけでなく、友好クラブ、他クラブとの交流機会もたくさん与えていただきました。

うちのクラブでは、米山奨学生以外、交換留学生も預かっています。昨年度のアメリカ出身の女の子シャイちゃん、今年度はドイツから来たフレディ君です。それで、交換留学生との交流も多いです。今年のクリスマス家族例会に、昔の交換留学生の皆さんを招待し、一緒にクリスマスを過ごすことができました。交換留学生のフレディ君は、その日に「北酒場（きたさかば）」という歌を歌いました。彼は歌詞の意味が分かるかどうかよく分かりませんが、当日ベストのアトラクションとなりました。



イベント、奉仕活動、例会以外、うちクラブの鈴木農園で毎月農業委員会もやっています。学友、現役の奨学生、それからロータリアンも参加しています。また、富士登山、戸田橋花火などの沢山の活動を通して、クラブの皆さん、学友と奨学生との多くの交流も行い、それから、夜間例会、食事会、たまたまの二次会も参加し、クラブで卓話をした後、懇親会もやっていただき、クラブの皆さんと沢山の思い出を作ることができました。

世話クラブ以外、地区の活動も参加しました。昨年度のロータリーフェスタでファッションショーをして、今年度の青少年フェスタではネパールカレーを作り販売しました。



それに、他のクラブの活動、浦和北の農作業ボランティア、大宮北東の児童養護施設の子供たちとの花火大会、杉戸 RCの皆様と杉戸流灯まつり などにも参加させていただきました。活動以外、昨年度は2回、今年度今日は4回目 卓話の形で多くのクラブにもお邪魔させていただいております。

実は、修士から、文教大学ローターアクトクラブを通して、多くの活動にも参加していました。例えば、マラソン大会、花火大会、キャップ回収、ゴミ拾い、祭り模擬店出店、ライラ研修、それに色んな記念例会、それから2016年度のアクト地区大会、私は会計をつとめて、とてもいい経験になりました。去年六月までアクトから卒業しました。こうして、色んな活動参加を通して、たくさんの仲間を作ることができました。



普段、たまに連絡して、一緒に食事をしたり、飲みに行ったりして、カラオケとかスキーとかも一緒に行きました。それから、私の誕生日の時、同期の奨学生にサプライズまでされて、すごく感動しました。米山奨学生になったお陰で、本当に、数えきれないたくさんの思い出を作ることが出来ました。



## 奨学金の種類と採用状況

第2770地区採用状況		2016年度31名	2017年度34名	米山記念奨学事業																	
		中国	18	16	2017年7月1日まで： 世界125の国と地域 1万9,808人の留学生																
		韓国	5	8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>月額</th> <th>2017年度採用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学部</td> <td>10万</td> <td>292人</td> </tr> <tr> <td>修士</td> <td>14万</td> <td>265人</td> </tr> <tr> <td>博士</td> <td>14万</td> <td>190人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>747人</td> </tr> </tbody> </table>		課程	月額	2017年度採用人数	学部	10万	292人	修士	14万	265人	博士	14万	190人	計		747人
課程	月額	2017年度採用人数																			
学部	10万	292人																			
修士	14万	265人																			
博士	14万	190人																			
計		747人																			
		ネパール	1	2	2017年度 747人 → (10万×292+14万×455)×12月=111,480万 事業50年 → ???!!!!																
		アメリカ	1	1	カアイカ 2年間 → 14万×24月=336万																
		インド	1	0																	
		コロンビア	1	1																	
		タイ	1	0																	
		バンララデシュ	1	1																	
		ベトナム	1	2																	
		ミャンマー	0	1																	
		マレーシア	0	1																	
		台湾	0	1																	
		学部	11	16																	
		修士	17	12																	
		博士	3	6																	

これは昨年度と今年度 第 2770 地区米山奨学生の採用状況です。去年は9か国、計31名、今年度は10か国、計34名です。米山記念奨学事業は、2017年7月1日まで累計で、世界125の国と地域からの留学生1万9,808人を支援しています。2017年度だけ、計747人の奨学生を採用しました。

私はちょっと計算してみました。2017年度だけはこの金額(11億1480万円)となります。事業50年の寄付金額は、本当に想像できない数となりますね。

カアイカー人だけ、2年間 計336万の奨学金を貰っています。私にとっては、これも十分大きい金額です。

奨学生に選ばれて、こんなにたくさんの奨学金を貰って、これまでの変化は何だろうというと、もちろん、一番感じた変化は経済的な面です。

実は、大学を卒業してから、お金の方は、全て自分が負担していますので、長時間のアルバイトをしなければなりません。米山奨学生になって、皆様のご支援のおかげで、今、中国語教師以外のアルバイトを全部辞めて、研究に集中することができるようになりました。

それに、精神的な面ですが、ここに、多くの学ぶこと、貴重な体験、有意義の思い出など沢山できたと、色々書いてありましたが、これらは多分 卓話する時、他の奨学生も大体同じ内容を話していると思います。自分自身としては、クラブのSAAをやらせていただき、卓話も沢山行かせていただき、本当に自己チャレンジの機会となりました。また、二年間 ロータリーでお世話になって、心が柔らかくなったと感じています。父が私の小学校6年生の時に亡くなってしまいましたので、その時から、一人でこっそりとよく泣きますが、人と別れる時でも、親戚がなくなる時でも、人の前で泣いたことがありません。奨学生になって、みんなの前で泣けるようになりました。世話クラブの皆さんから、本当にここから幸せを感じられています。

また、ロータリーのお陰で、新しい出会いもありました。去年、学会発表で長崎に行きましたが、埼玉に戻った日の午前中に、長崎原爆記念館へ見学に行きました。その時、ちょうど館内に原爆被害者の座談会があって、時間の関係で最後まで聞くことができなくて、メモ用紙で短い感想文と名前を書いて埼玉に帰ってきました。

その後、座談会の司会者、ネットで調べましたが、元福岡女学院院長、理事長、福岡今名誉学長である徳永徹(とおる)先生は、色んな方法で私を探しました。最後、幸手中央 RC で卓話した週報を見て、幸手中央 RC を通じて、米山奨学会まで連絡が来て、大騒ぎとなって、最後にカウンセラー駒崎さんの所までご迷惑をおかけしました。やっと連絡とれて、その時書いた感想文の続きをちゃんとする文章にしてほしいって、先生に頼まれました。私が書いた文章を先生に送った後に、先生からメールをいただきました。今年のお正月の前に、また、先生からの電話をいただいて、私が書いた文章のその本は、今年の2月に出版することになりました。

もし、米山奨学生にならなければ、このような出会いがきかないだろうと思っています。本当にロータリーのお陰です。

米山奨学生として、日中友好の懸け橋になれるように、普段では、このような活動を通して、少しずつ頑張っています。今まで、4年ぐらい、日中友好協会越谷支部の中国語教室で中国語を教えています。また、学校での活動として、2014年、2015年、2017年、それに今年2月 引率として、文教大学中国語学科の中国語学・文化短期研修に参加しています。主に学生の通訳等の仕事をしています。

それから、去年からおせっかいジャパンというボランティア団体の活動に参加しています。オリンピックに向けて、主に新宿、渋谷、浅草など観光客が多い駅で、困っている



外国人に声をかけて、行きたいところまで連れていく、電車の乗り方、ロッカーの場所とかを教えるなどのお手伝いをしています。

将来の夢として、大学の教師をやりながら、今の研究をし続けて、いい言語学者を目指して、頑張りたいと思います。また、皆様のように、力の限りで、だれかを助けられる、だれかの役に立つ人になりたいと思います。この先、まだまだ長い道のりだとは思いますが、皆様のご支援を忘れることなく、人生の一つ一つの困難を乗り越え、自分の目標に向かって頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、私の夢を支えてくださる皆さん、言葉では言い表せないほど感謝の気持ちはいっぱいです。本日は米山奨学生として、最後の卓話となると思いますので、最後の最後に、とてもとても言いたい言葉ですが、皆さま、これまで、二年間のご支援、本当にありがとうございます。また、本日、同行の米山記念奨学部門委員の藤嶋さん、わざわざ足を運んで頂いたことに深く感謝致します。

私の卓話内容は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

【何愛霞さんが書かれた原文を掲載致しました。】



## スマイルBOXより

### メンバー(50音順)

菊地 廣 小林利郎 鈴木 隆 鈴木真樹  
関根信行 田口雅弘 田畑寛樹 津多一幸  
中村 正 三浦宣之

❀ たくさんのご芳志ありがとうございました ❀

### スマイル報告

本日のスマイル合計	10,000円
年間累計額	638,000円

### 出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
24	11		2	54.17%